

デーリー東北

2025年(令和7年)11月13日(木曜日) (3)



八戸工業大の学生が作成した庭園のデザイン案。リンゴ箱でできた外壁やリンゴの木をあしらっている（青森県提供）

27年の国際園芸博覧会に青森県出展

八戸工業大学の学生が2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会「GREEN X EXPO 2027」に青森県が出展する庭園のデザイン案を作成した。12日に学生らが県庁を訪れ、宮下宗一郎知事に報告。メンバーで同大2年の大橋拓海さん（八戸市出身）は取材に「リンゴ箱のモチーフを『映えスポット』として、海外の人に写真を撮ってもらえれば」と意気込みを語った。

県は庭園を通じて、優れた造園技術やデザ

庭園デザイン案 八工大生が作成

リンゴ箱で外壁やタワー

イン、地域資源などをPRすることを目的に、同大にデザイン案の作成を依頼。5月から約半年間、感性デザイン学部所属の学生7人がデザインに取り組んできた。

庭園のテーマは「150年の実り、未来への根ざし」。県産リンゴをモチーフにリンゴ箱でできた外壁やタワー、リンゴの木をあしらうことで、時間の積み重ねや多様な文化などを表現した。

県庁でデザイン案の画像などを見た宮下知事は「青森らしい空間に仕上がった。庭園が完成したらぜひ皆さんも見に来てほしい」と出来栄を評価していた。

（尾野海琴）

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。